

練習問題 8

問 1

経済活動が停滞しているのに物価が上昇しつづける現象を何というか。下記から適当なものを選び【教員試験・神奈川県・横浜市・川崎市】

- (1) インフレーション (2) デフレーション (3) スタグフレーション
(4) デノミネーション

問 2

貨幣が流通必要量以上に市場にでまわったときに起こる現象を何というか。次の語句から選びなさい。【教員試験・大分県】

- (1) インフレーション (2) スタグフレーション (3) デフレーション
(4) ディス・インフレーション

問 3

次のうち、インフレの原因が費用側にあるコスト・プッシュ・インフレと考えられるのはどれか。【マクロ経済学・入門】

- (1) 品不足が生み出す物価の上昇 (2) ハイパー・インフレ
(3) 労働組合運動が盛んな国での慢性的な物価の上昇
(4) 景気が過熱したことによるインフレ

問 4

インフレーションを抑制する方策として、妥当なものは次のうちどれか【国家公務員種、教養試験】

- 1 企業は労働者のベースアップ率を労働生産性の増加率や物価上昇率を上回るように設定するとともに、日本銀行は公定歩合を上げ、労働者の貯蓄意欲を高める。
- 2 企業は原材料の輸入価格を低下させるために、その輸入量を抑制し、また生産を抑制することによって外貨の流出を防止する。
- 3 政府は生活必需品の便乗値上げを規制し、消費者はそれ以外の製品の値上げ情報をキャッチして、先んじて商品を購入する。
- 4 政府は公共投資をはじめとする財政支出の削減や、増税の実施による消費者の購買意欲の低下を通じて、総需要を抑制する。
- 5 日本銀行は、円安ドル高になるように為替相場に介入することにより、輸入品価格の上昇を図り消費者の購買意欲を低下させる。

問 5

以下の問に対し、最も適切な答えを一つ選んで、その記号（A～D）を記入しなさい。
あらかじめ予想されていなかったデフレーション（財・サービスの名目価格の下落）がもたらす影響に関する次の記述のうち、正しくないものはどれですか。【証券アナリスト、平成 13 年】

- A 実質賃金の上昇
- B 実質金利の上昇
- C 債務者の返済負担の増大
- D 債権者の実質資産の目減り

国民経済計算に関する次の記述のうち、妥当なものはどれか。【国税専門官・平成 11 年度】

- 1 国民経済計算においては、貯蓄と投資は常に等しいものと定義されているので、経済が事実上均衡状態にあることが前提にされている。
- 2 国内総生産とは、原則として、日本国内で生産された生産額の統計であり、国民総生産とは、国内または国外にかかわらず原則として、日本国民により生産された生産額の総計である。
- 3 国民所得勘定に含まれる生産活動は、帰属計算の対象を除き、原則として、市場で取引されるものに限定されているので、市場で売買されない政府サービス、余暇、環境は国民経済計算に含まれない。
- 4 国民総生産から資本減耗を控除し、補助金を加算したものを国民純生産といい、国民純生産から資本減耗を控除したものを国民所得という。
- 5 名目 GDP を 100 とし、購入量をウエートとした物価指数（GDP デフレーター）を 1.5 とした場合、実質 GNP は 150 となる。

1 は誤り。

